

令和3年上半期

火災と救急・救助の概要



三木市消防本部

令和3年上半期火災と救急・救助の概要

この統計は、令和3年1月1日から令和3年6月30日までの上半期に三木市で発生した火災・救急・救助を集計したものです。

[目 次]

火 災 概 要

1	火災種別件数（対前年比）	1
2	火災概要（対前年比）	2
3	署別火災件数	3
4	地区別火災件数	3
5	月別火災件数	3
6	曜日別火災件数	4
7	時間別火災件数	4
8	覚知別火災件数	4
9	原因別火災件数	5
10	初期消火の状況	5
11	死者の状況	6
12	消防部隊出動状況	6
13	高速道路別出動状況	6

救 急 概 要

1	救急出場件数	7
2	事故種別救急活動状況	8
3	地区別救急出場件数	8
4	曜日別救急出場件数	9
5	月別救急出場件数	9
6	時間別救急出場件数	9
7	傷病程度別搬送人員	10
8	年齢別搬送人員	10
9	性別・科目別搬送人員	10
10	応急処置件数	11

救 助 概 要

1	救助出動状況	12
2	発生場所別出動件数	12
3	事故種別地区別活動状況	13

令和3年上半期の火災概要

本年上半期（1月～6月）に発生した火災件数は15件で、前年と比べ5件減少しました。

火災種別では、建物火災が3件増加して8件（53.3%）、林野火災は4件減少して3件（20.0%）、車両火災は2件減少して1件（6.7%）、その他火災は2件減少して3件（20.0%）となっています。

建物焼損棟数は12棟で、全焼2棟、半焼1棟、部分焼4棟、ぼや5棟、り災世帯は9世帯、り災人員は18人です。

建物焼損面積は204㎡（前年21㎡）で増加しました。

火災損害額は16,262千円（前年218千円）で増加しています。

1 火災種別件数（対前年比）

発生年	令和3年	令和2年	比較
出火件数	15件	20件	△5件
火災種別	建物	5	3
	林野	7	△4
	車両	3	△2
	船舶	0	0
	その他	3	5

（△印は減少）

2 火災概要（対前年比）

出火件数は、前年に比べると5件減少しています。

区 分	単 位	令和3年	令和2年	比 較
出 火 件 数	件	15	20	△ 5
建 物	〃	8	5	3
住 宅	〃	5	1	4
工 場	〃	0	0	0
そ の 他	〃	3	4	△ 1
林 野	〃	3	7	△ 4
車 両	〃	1	3	△ 2
船 舶	〃	0	0	0
そ の 他	〃	3	5	△ 2
損 害 額	千円	16,262	218	16,044
建 物	〃	15,896	96	15,800
建 物	〃	14,161	33	14,128
収 容 物	〃	1,735	63	1,672
林 野	〃	0	0	0
車 両	〃	1	115	△ 114
船 舶	〃	0	0	0
そ の 他	〃	365	7	358
爆 発	〃	0	0	0
建 物 焼 損 棟 数	棟	12	5	7
全 焼	〃	2	1	1
半 焼	〃	1	0	1
部 分 焼	〃	4	1	3
ぼ や	〃	5	3	2
爆 損	棟	0	0	0
損 害 棟 数	棟	0	0	0
車 両 等 数	台	0	0	0
焼 損	m ²	204	21	183
建 物 床 面 積	m ²	204	21	183
建 物 表 面 積	〃	211	119	92
林 野	a	831	56	775
車 両	台	1	3	△ 2
船 舶	台	0	0	0
負 傷 者	人	1	3	△ 2
死 者	〃	2	0	2
り 災 世 帯	世帯	9	1	8
全 損	〃	1	0	1
半 損	〃	1	0	1
小 損	〃	7	1	6
り 災 人 員	人	18	4	14
建 物 1 件 当 た り の 損 害 額	千円	1,987	19	1,968
〃 焼 損 床 面 積	m ²	26	4	22

(△印は減少)

3 署別火災件数

前年同期比で、本署管内は4件減少、広野管内は3件増加、吉川分署管内は4件減少しています。

種 別		建 物	林 野	車 両	船 舶	その他	合計
署 別	年						
本 署	3年	3	1	1	0	0	5
	2年	4	2	2	0	1	9
広野分署	3年	3	0	0	0	1	4
	2年	0	1	0	0	0	1
吉川分署	3年	2	2	0	0	2	6
	2年	1	4	1	0	4	10
合 計	3年	8	3	1	0	3	15
	2年	5	7	3	0	5	20

4 地区別火災件数

三木、別所、口吉川、吉川地区で減少しています。

地区	三木	三木南	別所	志染	細川	口吉川	緑が丘	自由が丘	青山	吉川	合計
3年	2	0	1	3	1	0	1	2	0	5	15
2年	5	0	2	2	1	1	0	0	0	9	20

5 月別火災件数

1月、3月が4件と最も多く発生しています。

月	1	2	3	4	5	6	合計
3年	4	3	4	1	3	0	15
2年	4	1	2	3	5	5	20

6 曜日別火災件数

日曜日、木曜日が4件と最も多く発生しています。

曜日	日	月	火	水	木	金	土	不明	合計
3年	4	1	0	2	4	3	1	0	15
2年	1	4	2	5	4	1	3	0	20

7 時間別火災件数

14時台が5件と最も多く発生しています。

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
3年	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
2年	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1

12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	不明	合計
0	2	5	1	0	0	1	0	0	0	0	3	0	15
1	3	1	4	3	1	2	0	0	0	0	1	0	20

8 覚知別火災件数

携帯電話の通報が10件と最も多くなっています。

種別	119 (固定)	119 (携帯)	加入 電話	警察 電話	駆け つけ	事後 聞知	その他	合計
3年	1	10	1	0	0	3	0	15
2年	3	9	2	0	0	5	1	20

9 原因別火災件数

たき火が6件で、前年と同様出火原因のトップです。

原因別	3年	2年	原因別	3年	2年
たばこ	1	0	配線器具	3	1
こんろ	0	0	火あそび	0	0
かまど	0	0	マッチ・ライター	0	0
風呂かまど	0	0	たき火	6	11
炉	0	0	溶接機・切断機	0	0
焼却炉	0	0	灯火	0	0
ストーブ	0	0	衝突の火花	0	0
こたつ	0	0	取灰	0	0
ボイラー	0	0	火入れ	0	0
煙突・煙道	0	0	放火	1	0
排気管	0	0	放火の疑い	0	0
電気機器・装置	0	2	その他	0	3
電灯・電話配線	1	1	不明	2	2
内燃機関	1	0	調査中	0	0
			合計	15	20

たき火欄内訳	3年	2年
たき火	2	5
虫焼火	4	6
合計	6	11

10 初期消火の状況

住民等による初期消火が行われたのは、15件中6件です。

区分	初期消火の状況							初期消火なし	合計
	消防用設備	消火器	水道・浴槽・汲み置きの水	寝具・衣類等をか	もみ消した	その他	小計		
3年	0	0	4	1	1	0	6	9	15
2年	0	6	4	0	2	1	13	7	20

11 死者の状況

2月のその他火災で1名、5月の建物火災で1名、合計2名の死者が発生しています。

12 消防部隊出動状況

種別 \ 署別	本署	広野分署	吉川分署	合計
部隊	49	30	36	115
偵察	20	11	13	44
警戒	29	18	20	67
応援	0	1	3	4
風水害	0	0	0	0

(救助は除く)

- ※「偵察」 偵察・煙火・自動火災報知設備・誤報・捜索・異臭の調査等
 「警戒」 救急支援・油処理・ガス漏洩・その他（へり誘導）の活動等
 「応援」 近隣応援(境界、管轄高速道等)・緊急消防援助隊の出動等

13 高速道路別出動状況

道別 \ 種別	火災	救急	救助	偵察	警戒	応援	風水害	合計
中国道	0	4	0	0	1	3	0	8
舞鶴若狭道	0	0	0	0	0	0	0	0
山陽道	1	6	0	0	1	0	0	8
合計	1	10	0	0	2	3	0	16

令和3年上半期の救急概要

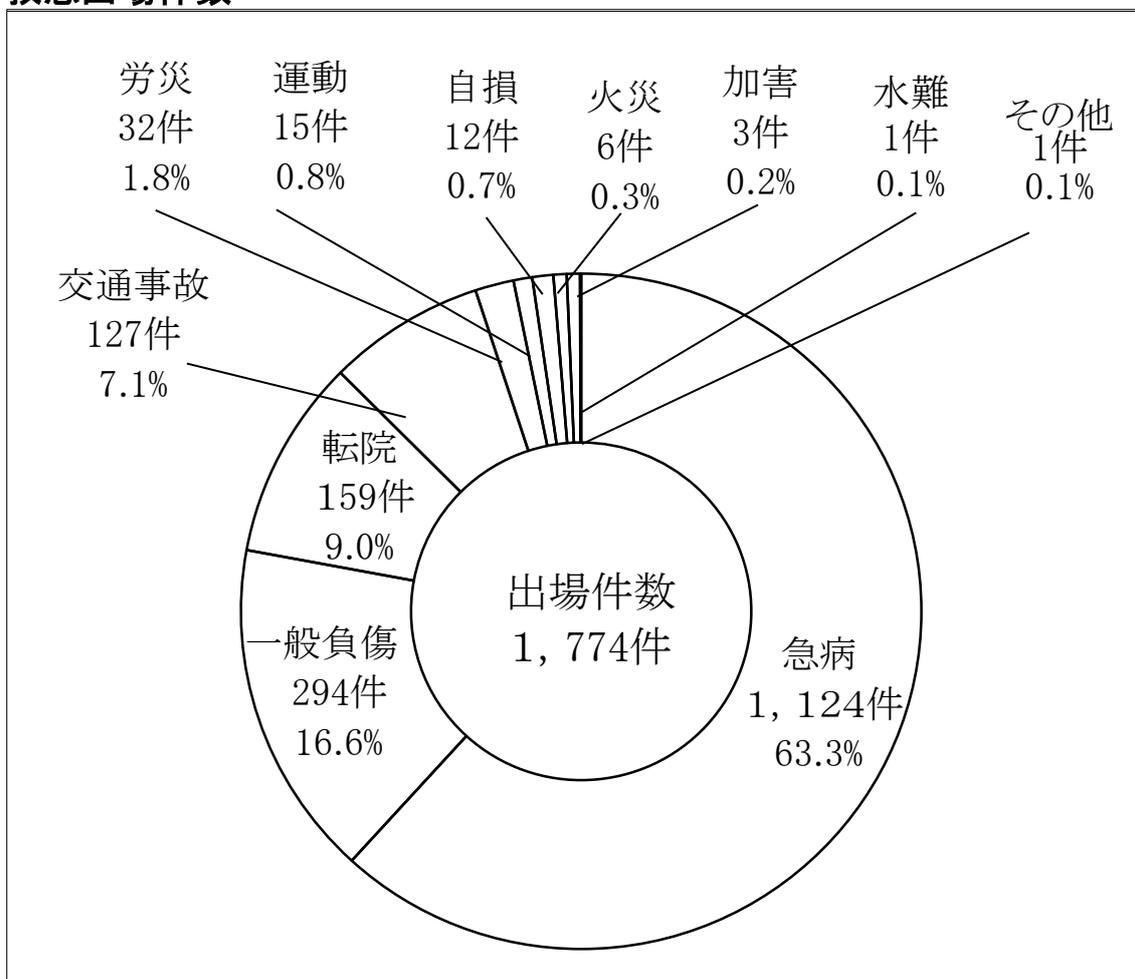
令和3年上半期（1月～6月）の救急出場件数は1,774件で、前年の1,736件に比べ38件増加しています。

搬送人員は1,640人で、昨年の1,595人に比べ45人の増加となっています。

事故種別出場件数は、急病が1,124件（63.3%）で最も多く、一般負傷294件（16.6%）、転院搬送159件（9.0%）、交通事故127件（7.1%）の順となっています。

事故種別による件数を昨年と比較すると、急病93件の増加と、転院搬送32件、一般負傷28件の減少となっています。

1 救急出場件数



2 事故種別救急活動状況

種別	区分	救急出場件数			搬送人員		
		3年	2年	比較	3年	2年	比較
事故種別	火災	6	6	0	0	3	△ 3
	自然災害	0	0	0	0	0	0
	水難	1	0	1	1	0	1
	交通	127	129	△ 2	131	121	10
	労働災害	32	19	13	31	18	13
	運動競技	15	15	0	15	15	0
	一般負傷	294	322	△ 28	272	301	△ 29
	加害	3	8	△ 5	3	6	△ 3
	自損行為	12	9	3	9	6	3
	急病	1,124	1,031	93	1,019	936	83
	その他	転院搬送	159	191	△ 32	159	189
医師搬送		0	0	0	0	0	0
資器材輸送		0	0	0	0	0	0
その他		1	6	△ 5	0	0	0
合計		1,774	1,736	38	1,640	1,595	45
不搬送		148	148	0			
管外搬送					1,240	1,102	138

※管外搬送人員には、北播磨総合医療センターを含みます。(△印は減少)

3 地区別救急出場件数

地区	三木	三木南	別所	志染	細川	口吉川
3年	506	181	182	147	63	40
2年	526	149	149	132	44	38

緑が丘	自由が丘	青山	吉川	その他	合計
183	229	86	144	13	1,774
195	247	67	174	15	1,736

4 曜日別救急出場件数

月曜日が最も多く、最も少ないのは日曜日となっています。

曜日	日	月	火	水	木	金	土	合計
3年	235	279	240	271	238	267	244	1,774
2年	251	278	214	256	244	246	247	1,736

5 月別救急出場件数

1月が最も多く、最も少ないのは2月です。

1ヶ月平均296件、1日平均では9.8件出場しています。

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
3年	356	257	295	285	287	294	1,774
2年	389	298	292	233	238	286	1,736

6 時間別救急出場件数

10時台の130件が最も多く、次に11時台の121件で、最も少ないのは4時台の17件で、次に2時台の22件です。

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
3年	31	28	22	23	17	32	54	69	100	115	130	121
2年	37	30	26	29	23	34	36	67	104	114	128	91

12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	合計
105	112	102	110	96	102	77	69	71	67	58	63	1,774
114	105	104	86	111	99	102	72	75	53	51	45	1,736

7 傷病程度別搬送人員

傷病程度別では、中等症が50.5%を占めています。

単位：人

程度	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
3年	27	48	828	737	0	1,640
2年	14	59	755	767	0	1,595

8 年齢別搬送人員

高齢者（65歳以上）が最も多く、搬送人員の67.4%を占めています。

単位：人

年齢	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
	(生後28日未満)	(28日～6歳)	(7歳～17歳)	(18歳～64歳)	(65歳以上)	
3年	0	58	58	418	1,106	1,640
2年	0	56	43	418	1,078	1,595

9 性別・科目別搬送人員

昨年と比べると男性が35人、女性が10人の増加となっています。

科目別では、内科867人、整形外科の317人、脳神経外科の280人の順となっています。

単位：人

科目	外科		整形外科		脳神経外科		内科		小児科		精神神経科	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
3年	55	34	157	160	168	112	493	374	24	20	1	4
2年	85	37	122	145	173	127	446	370	23	17	3	2

産婦人科	眼科		耳鼻咽喉科		泌尿器科		その他		合計	
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
9	0	2	7	3	11	3	0	3	916	724
4	5	0	9	7	15	3	0	2	881	714

10 応急処置件数

全搬送人員 1, 640 人に対して、傷病者観察と応急処置が施されています。

事故種別 応急処置	急病	交通事故	一般負傷	左記以外	合計
応急処置対象人員(人)	1,019	131	272	218	1,640
止血	6	5	17	11	39
固定	3	62	32	10	107
人工呼吸	0	0	0	0	0
胸骨圧迫	0	0	0	0	0
心肺蘇生	38	0	4	6	48
酸素吸入	187	7	14	52	260
気道確保	24	0	3	4	31
経口エアウェイ	0	0	0	0	0
喉頭鏡・鉗子	1	0	1	0	2
※リングマスク等	23	0	1	2	26
※気管挿管	0	0	1	2	3
保温	33	3	7	1	44
被覆	7	24	51	16	98
在宅療法継続	7	0	0	0	7
除細動	9	0	1	2	12
血圧測定	979	130	256	209	1,574
心音・呼吸音聴取	155	36	19	14	224
血中酸素飽和度測定	984	130	268	212	1,594
心電図測定	687	47	86	109	929
※静脈路確保	29	0	2	4	35
心肺機能停止前	2	0	0	1	3
心肺機能停止後	27	0	2	3	32
※薬剤投与	17	0	2	3	22
※血糖測定	4	0	0	0	4
※ブドウ糖投与	1	0	0	0	1
その他	992	131	269	213	1,605
合計	4,162	575	1,031	866	6,634

※印は、救急救命士の特定行為等

令和3年上半期の救助概要

令和3年上半期における救助出動件数は46件で、前年と比べ11件多くなっています。

1 救助出動状況

区分		事故種別										合計
		火災	交通	水難	風水害	機械等	建物等	ガス等	破裂	その他		
出動件数 (件)	3年	2	14	1		3	23			3	46	
	2年		11				20			4	35	
活動件数 (件)	3年	2	9	1		1	16			3	32	
	2年		8				14			2	24	
救助人員 (人)	3年		10	1		1	6			3	21	
	2年		7				8			2	17	
出動台数 (台)	3年	5	57	4		11	56			9	142	
	2年		38				49			10	97	
出動人員 (人)	3年	14	168	11		34	164			22	413	
	2年		118				144			31	293	

2 発生場所別出動件数

発生場所		事故種別										合計
		火災	交通	水難	風水害	機械等	建物等	ガス等	破裂	その他		
屋内	住居	2					22			1	25	
	その他の屋内					1					1	
屋外	高速道路										0	
	その他の道路		13							1	14	
	その他の屋外					1	1			1	3	
	内水面		1	1							2	
	外水面										0	
	山岳										0	
	その他					1					1	
合計		2	14	1	0	3	23	0	0	3	46	

3 事故種別地区別出動状況

事故種別では、建物等による事故が23件で全体の50.0%を占めています。地区別では、三木地区と自由が丘地区が、共に12件と最も多くなっています。

地区別 \ 事故種別	火災	交通	水難	風水害	機械等	建物等	ガス等	破裂	その他	合計
三木		3	1		1	7				12
三木南									1	1
別所		3			1	2				6
志染		4							2	6
細川										0
口吉川					1	1				2
緑が丘						2				2
自由が丘	2	1				9				12
青山						1				1
吉川		3				1				4
高速道路										0
管外										0
合計	2	14	1	0	3	23	0	0	3	46